学校番号	1101

令和八年度　公民科

教科	公民科	科目	公民総合	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	記入整理・演習と解説　「スタディノート公共」						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・経済分野、政治分野ともに、基礎的な知識を身につけてください。
・2 年次で学習した公共の特に経済分野の基礎知識を基にして探求し、より理解を深めていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係経済などについて客観的に理解させる。
【思考力、判断力、表現力等】
現代における政治、経済、国際関係経済などに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
現代における政治、経済、国際関係経済などに関する諸課題について興味関心持ち、良識ある公民として必要な能力と態度を育てるとともに、自分自身の意見をしっかりと持てるようにする。

3　評価の観点及びその趣

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。また、政治知識を身に付け自分なりの意見を持ち表現できる。	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	経済	・経済社会の変容 ・企業の働き ・市場機構 ・財政の役割 ・金融の役割 ・雇用と労働問題 ・消費者保護と企業の責任	a: 経済の基本的なしくみについて理解し、金融政策や財政政策についても理解できる。また、ネット社会が発展してきている中で多発する消費者問題について理解できる。大企業と中小企業におけるさまざまな格差について理解できる。 b:現代の日本の経済状況について理解しており、様々な問題について多面的、多角的にとらえ、自分なりの解決策を考えることができる。また、どういったことをすれば解決できるかを言葉にまとめ、表現することができる。 c:様々な日本の抱える経済問題について考察し、それについて主体的に取り組むことができる。	定期考査 課題	定期考査 課題	課題提出
後期	国際社会と日本の役割	・国際経済の仕組み ・国際経済における日本 ・国際法 ・国際連合 ・戦後の国際関係 ・核兵器問題 ・人種、民族問題 ・日本の国際貢献	a:国際経済の仕組みについて理解している。国際社会が抱えている課題について関心を持ち理解している。また、国際社会における日本の役割を理解している。 b:国際社会の抱える様々な課題について理解し、多面的、多角的に考察することができる。また、自分なりの解決策や考えを導き出し、言葉として表現することができる。世界規模の様々なデータから諸問題を読み取ることができる。 c:国際社会の抱える様々な問題を多面的、多角的にとらえ、主体的に取り組むことができる。	定期考査 課題	定期考査 課題	課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度